

ソフトウェア開発リポジトリの共有と発展

眞鍋 雄貴^{1,a)}

概要：ソフトウェア工学において、PROMISE データセットに代表されるリポジトリの共有は、実証的な分析という観点から大きな役割を果たしてきた。そして、リポジトリマイニングに注目した国際会議である MSR では、2013 年以降、データセットの提案セッション (Data Showcase) が開催されており、その重要性はますます高まっているといえる。そこで、本ワークショップでは参加者間でのリポジトリの共有を目的とする。それぞれがリポジトリデータを持ち寄り、データそれ自体と具体的な利用 (分析) 方法について紹介し、知識の共有を図る。持ち寄るリポジトリデータはオープンなアクセス手段があるものであれば自作、他作を問わないが、議論の都合上、利用実績のあるものである事が望ましい。紹介されたリポジトリデータについて議論をし、理解を深め、各自の今後の研究に生かすと共に、ソフトウェア工学の発展に貢献するためにはどのようなデータセットが構築、共有されるべきかについても議論したい。

¹ 熊本大学大学院自然科学研究科
Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University

a) y-manabe@cs.kumamoto-u.ac.jp